

学校給食の食物アレルギー対策

小室 学校給食は年々その重要性が高まっています。今回は学校給食のアレルギー対応の状況についてお聞きします。

＊事前に調査依頼をして、野田市の幼稚園、小中学校のアレルギー保有者数や対応の人数を出してもらいました。

小室 アレルギー対応をしているお子さんに、周囲の子どもたちが「嫌いだからでしょう」などと言われることがあって困ることがあると聞きます。周囲の子どもたちへの理解をどのように進めていますか。

学校教育部長

アレルギーに対する共通の理解は必要であると考え、年齢に応じた指導を行っています。



市議
小室 みえこ

	在籍数 (a)	食物アレルギー保有者数 (b)	食物アレルギーはあるが、特に給食の対応を必要としない人数 (c)	食物アレルギーはあるが、給食の対応を必要としない人数の割合 (c/a)	食物アレルギーがあって給食の対応を必要とする人数 (d)	在籍数のうち給食の対応を必要とする人数の割合 (d/a)	エピペンを処方されている人数 (e)	食物アレルギー保有者のうちエピペンを処方されている子の割合 (e/b)
小学校	8,166人	487人	322人	3.90%	165人	2.00%	27人	5.50%
中学校	3,957人	294人	219人	5.50%	75人	1.90%	10人	3.40%
公立幼稚園	177人	4人	1人	0.60%	3人	1.70%	0人	0%
合計	12,300人	785人	542人	4.40%	243人	2.00%	37人	4.70%

お弁当持参しているお子さん

＊命に関わる重篤な場合は、無理な対応はしないという方針でお弁当を持って来てもらうケースもあります。

＊幼稚園、小中学校合わせて14名がお弁当を持ってきたというそうです。

小室みえこの「コメント」

食物アレルギーは、命に関わる対応であり、周囲の子どもたちへの理解も進めていただき、事故があつてはならないことですが119番通報のシミュレーションも確認しておく必要性についても提案しました。

学校給食の調理室について

小室 給食調理室の室温と湿度についての基準において

適正であるかを質問しました。

年々猛暑が続く夏季の給食室は衛生面、働く環境として空調が必要です。しかし、食品の温度管理には十分注意し食中毒への配慮を行っています。現状の構造のまま

空調を導入しても効果は薄いと考え、今後の大規模改修等の対策に合わせて組み込むとのことです。工夫できるところは改善を求めました。

野田市の上下水道の課題は？

上下水道事業

予算委員会で質問した際、北千葉広域事業団からの受水費の値上の可能性について答弁があつたため、確認のため質問しました。それに対して、「現在審議中であるが、令和2年から5年間は無いようだ」という答弁でした。野田市は未来構想水道ビジョンとしての経営戦略（素案）のバブリックコメントを行いました。今後の動きに注目していきましょう。

下水道の民営化は？

今年4月に柏市が



全国で初めて「包括的民間委託事業」として、部分的な民間委託を始めました。民間委託に反対なため、野田市の見解を聞いたところ野田市として民間委託はないという答弁でした。

野田市野田公民館が野田市生涯学習センターに？



櫛のホールに設置

されている野田市民館、中央コミュニティセンター等は、複合施設として建設する際借金をしました。借金をすることを起債といいますが、起債の条件は、公民館であることが条件でした。そこで、複合施設の多く(図書館とコミュニティ会館以外)を公民館の施設として建設しました。野田市民館は市内の他の公民館と利用条件が異なるのは、そのためです。

ここで、公民館が、生涯学習センターになっても、多くの方はさほど違和感がなく利用が継続できると思います。また、管轄も引き続き教育委員会が行います。

しかし

公民館の根拠法は、社会教育法(公民館法)です。公民館でなくなることは自体に反対しました。

今、全国的に問題となっている社会教育施設の再編は、学びの自

市民ネットが提言

木更津駐屯地への暫定配備撤回を求める意見書

意見書つてなに？

地方公共団体が議会の意見としてまとめた文書で、国や関係行政庁に対して公益に関する意見を提出すること

市民ネットワークは木更津駐屯地へのオスプレイ暫定配備の撤回を求めて、意見書を提出しました。

佐賀空港での受け入れ交渉が漁業組合を中心とする反対により難航していることから、配備は既定の事実と判断せざるを得ません。

オスプレイの事故率や安全性については、普天間基地24機のうち2機が墜落大破し死者3名を出しています。残る22機のうち8機は整備不良で新品に交換されました。また木更津駐屯地での定期点検で整備に時間がかかるのは、このオスプレイのメカニズムが複雑であることが原因です。そもそもオスプレイの必要性や木更津配備の軍事的合理性について合意は得られていません。今回の木更津への暫定配備を白紙撤回するよう求めました。



賛成した会派

民主連合、共産党、無所属クラブ

反対した会派

政清会、公明党、地域クラブ

【結果】

賛成少数で否決

小室みえこの「コメント」

この意見書に反対した会派は、「暫定配備をあたかも配備が決まったかのように、基地を有しない野田市が、(木更津市が判断すべきことに)口をはさむことは無責任」という見解を述べました。危険なオスプレイが飛行するリスクや安全保障上の合理性を欠いた配備に対して口をはさむなど切り捨てる方が無責任です。また、木更津駐屯地への配備となれば、千葉県内の空にオスプレイが飛ぶようになるとも言われています。野田市にも影響が出るかもしれません。そもそも配備先を決定しないままオスプレイの購入を決め、その配備先を無理に決めようとする自体が無責任です。

とっちが無責任？

